

速報 編集レター

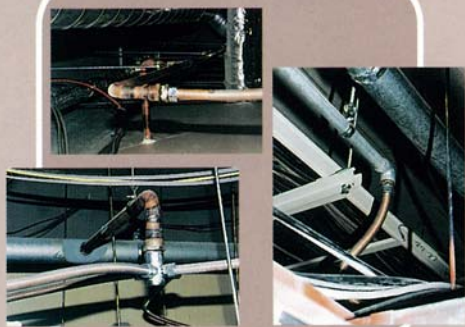
阪神大震災で、 軟質銅管の実力を証明!

～消防スプリンクラー用銅配管／医療ガス用銅配管／給湯用銅配管

神戸市中央区脇浜町にある「神鋼病院」は、1994年2月に竣工（新耐震基準適用）した7F／B1のRC／SRC構造の建物です。本病院には、消防用スプリンクラー（ヘッド数2,700個）に銅配管（50A以下）が採用されており、また医療用ガス配管および給湯用配管にも銅管が採用されています。この度の阪神大震災では、“震度7”の激震を記録した周辺地域の被害とあわせ、本病院も敷地地盤の沈下、内外壁損傷や天井破損などの被害がありましたが、スプリンクラー配管をはじめ各種配管にまったく異常は認められませんでした。これは軟質銅管を使用しているため、そのフレキシブルな特性が生かされた結果だと考えられます。



●消防スプリンクラー用銅配管



●医療ガス用銅配管



●給湯用銅配管

